

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
西区中学校合同演奏会		西区自治連合協議会「にぎわい・文化のまちづくり」部、堺市西区			
事業目的	事業内容	活動指標	R3	R5	R6
西区内市立6中学校吹奏楽部部員のそれぞれが演奏技術の向上に努め、音楽を通じて感性の豊かな大人に成長するよう支援する。また、同じ空間で音楽に触れることで、区民の活力に繋げ、連帯感の醸成を図る。	西区内市立6中学校の吹奏楽部が、日頃の練習の成果を発表する機会として、6中学校合同の演奏会を開催する。なお、演奏会当日は、「午前の部」と「午後の部」の2部制に分け、実施する。	演奏会参加校数	4校	(5月開催)6校 (3月開催)6校	6校
		観客数	約240名	(5月開催)約950名 (3月開催)約800名	約750名
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	次世代を担うこども達を音楽を通じて育み、学校同士の交流や演奏技術の向上にもつながる。また演奏中、会場が手拍子に包まれる場面もあるなど、区民の連帯感が醸成されていると考えられ、事業を実施する妥当性がある。	○	必要な打合せや選曲、練習、楽器の準備、舞台上の段取り等は出演中学校が主体となって行っている。西区役所としては、会場確保や設営等を行い、広報は自治会に協力を依頼するなど、役割を分担し協働で、事業を実施している。	△	西区内市立6中学校が一同に会する唯一の演奏会であり、貴重な機会である。来場者アンケートでも「演奏が圧巻であった」、「一生懸命さに魅了された」等、非常に好意的な意見が多いが、区政に対してインパクトが強いとまでは言えない。
④効率性		○		出演中学校、自治会、西区役所で役割を分担し、準備を進めることができた。また、プログラムの配布やアンケートの回収を電子化し、費用負担や事務負担を軽減するなど、効率的に実施できた。	
⑤自立発展性		総合評価			
△	教育現場の多忙化が問題となっていることもあり、出演中学校のみで会場の確保、当日の設営、広報、舞台業者との調整等を行うのは困難である。今後も、出演中学校、自治会、西区役所の協働で実施していくことが望ましい。	○	令和5年度に引き続き、西区内の全6市立中学校が出演することができた。各中学校が舞台上の段取り等で協力し、演奏会を作りあげることで、学校を越えた交流の場となっていた。同日に地域で交流イベントが開催された影響で、観客数は昨年度から微減となったが、演奏中は会場が手拍子に包まれる場面もあり、来場者アンケートで「大変よかった」「よかった」と回答した方が95%を超えるなど、来場者の満足度は高かった。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	令和5年度に引き続き、今年度も2部制で行い、西区内の全6市立中学校が出演することができた。各中学校が舞台上の段取り等で協力し、演奏会を作りあげることで、学校を越えた交流の場となっていた。出演中学校からは「たくさんのお客さんの前で演奏することができ、いい経験になった」といった声もいただいている。また、演奏中は会場が手拍子に包まれる場面もあり、来場者アンケートで「大変よかった」「よかった」と回答した方が95%を超えるなど、来場者の満足度も高い。 教育現場と行政、自治会の協働事業として演奏会を実施することで、教育現場の負担軽減にもつながっており、地域住民からの評価も高いことから、継続実施が望ましいと考える。今後も各中学校や自治会と連携、協力しながら、さらなる充実を図っていきたい。				